【論点】

デューイは学校において目的を持った行動に必要な、多くの実際的教材や設備と様々なことをする機会が必要と述べている。

現代の日本において学校の教育は、思考を呼び起こすものになっているか？

【論点にいたるまでの流れ】

(p.148, l.8)To realize what an experience, or empirical situation, means, we have to call to mind the sort of situation...

学校において思考を呼び起こすには、日常生活において興味をおこさせ、活動させるような仕事を思い出さなければならない（算術・地理・外国語などでも）（＝非学校的方法）

ＢＵＴ

BUT

(p.149, l.17)The physical equipment and arrangements of the average schoolroom are hostile to the existence of real situations of experience.

通常の教室の設備⇒真の経験が存在するには不都合

⇒日常生活との乖離、好奇心が発揮されない

(p.149)No amount of improvement in the personal technique of the instructor will wholly remedy this state of things. There must be **more actual material, more stuff, more appliances, and more opportunities**…

そうした状況は教師個人の技量の改良では改善しない。多くの**実際的教材・設備・機会が必要**

【まとめ】

デューイは学校において、目的を持った行動に必要な思考を呼び起こすには、多くの**実際的教材や設備と様々なことをする機会が必要**と述べている。